

## プロジェクト課題活動実績

課題名：山口市秋穂黒潟地区における大規模法人の育成

山口農林事務所農業部 チーム員：吉村、橋本、芦沢、藏本

### <活動事例の要旨>

山口市秋穂黒潟地区で実施されているほ場整備事業における担い手となる集落営農法人の設立に向けて支援を行った。

#### 1 普及活動の課題・目標

現在山口市秋穂黒潟地区では、担い手への農地集積加速化や農業の高付加価値化のための大区画化や水田高機能化等を実現するため「農業競争力強化基盤整備事業」に取り組んでいる。

当該事業計画は、130haの1団の農地整備するもので、地域では担い手への農地集積率目標を75%とし、その中心的な担い手として、法人の設立が計画されており、基盤整備事業の進捗と合わせた円滑な法人設立が求められている。

#### 2 普及活動の内容

##### (1) これまでの状況と活動

ア 事業計画 面積 133ha 事業費 約30億円  
担い手 3経営体（内法人1）集積目標107.6ha（内法人90ha）

集積率 80%

当初予定 平成27年度 事業採択

平成28年度 工事開始

平成29年度 一時利用開始予定

平成32年度 工事完了

##### イ 活動状況

##### ○平成26年

- ・翌年度のほ場整備事業採択に向け、黒潟地区ほ場整備推進協議会で事業の要件である法人設立について当初計画である平成29年度設立を視野に検討を進めた。
- ・事業内容の周知が不十分なことから、各地区で説明会が実施され、「農業法人」の設立について説明を行った。
- ・黒潟地区ほ場整備推進協議会には、営農部会が設置されていたが、非農家も含まれるなど活動は実質できない状況であった。
- ・このため、協議会の中に「法人設立準備会」として法人設立について実質検討できる組織の設立を誘導し検討を開始した。（法人設立準備会 7名）

- ・法人設立準備会で、法人の設立に向け「農事組合法人」等の理解や、設立する法人のイメージを明確にするため、「(農)川西」に視察を行った。
- ・経営収支の想定を示し、さらに法人のイメージを想定されるようにした。
- ・また、これまでの法人設立準備会の活動内容を協議会で委員自ら説明するよう支援した。

#### ○平成27年度

- ・今後の検討スケジュール等を協議し、法人概要の策定、それによる地元説明会の実施、営農意向アンケートの実施（法人参加者の確認）、法人参加者による協議会の設立することとなった。
- ・経営シミュレーションを行い、現状における方向性を確認した
- ・この結果を基に、地区説明会を実施し、ほ場整備事業の主旨、法人設立の必要性、法人への協力を依頼するための地区説明会及びアンケート調査が実施された。
- ・このアンケートでは、ほ場整備事業における意向確認も実施されており、この調査結果が事業の根幹にかかわる結果内容となったことから、「法人参加者による協議会」の設立の検討が中断された。
- ・その後、アンケート結果を踏まえ、「協議会」設立に向け「協議会」役員となる人材を確保するため法人設立準備会の委員を増員し、協議会の設立向け検討を進めた。

#### ○平成28年度

- ・法人設立準備会で、「黒潟地区法人設立準備協議会」の設立向け協議を行い、7月23日に設立された。（参加者171名）
- ・法人についてより理解を進めるため、再度(農)川西及び(農)二島西へ視察研修を行った。

### 3 普及活動の成果

- ・平成26年から検討を進めてきたメンバーも、自ら法人を運営するという意識が低かったが、「黒潟地区法人設立準備協議会」が設立され、法人の核となる協議会役員に人による検討が開始された、法人役員としての意識が醸成されつつある。
- ・視察等により、法人の具体的なイメージ、問題点等が役員に認知された

### 4 今後の普及活動に向けて

- ・ほ場整備事業の進捗が不透明なため、法人設立の時期や機械装備の導入時期等様々な課題が出てきており、ほ場整備事業の進捗を注視しながら、法人体制、運営方法等の検討を進めて行く。